

2017-B		VI10B			
拠出金・基金 の名称		ASEAN事務局拠出金			
種 別		☒ イヤマークのみ ☐ 一部イヤマーク			
【拠出先の国際機関名】東南アジア諸国連合（ASEAN）					
【所管官庁担当局課・室名】農林水産省大臣官房国際部海外投資・協力グループ					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 アセアン諸国のフードバリューチェーンの構築等に寄与するため、生産・加工・流通等の各段階における人材育成を目的とした国内外の研修や専門家派遣、緊急支援に要する米備蓄のための経費等の拠出や専門家派遣、派遣専門家による調査手法の導入・実証を通じた食品加工・流通データ整備、アセアン諸国の主要大学に専門講座を開講することへの支援。					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千米ドル)	外貨2 (千)	レート	ODA率(%)
平成29年度	244,363	2,221	-	1米ドル=110円	100
平成28年度	255,822	2,132	-	1米ドル=120円	100
平成27年度	287,193	2,611	-	1米ドル=110円	100
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 アセアン事務局は、我が国の食料安全保障の確保や経済的パートナーとして極めて重視する東南アジア諸国の経済発展や経済統合に係る取組、さらに統一的な対外経済活動を行う国際機関である。我が国を含むアジア地域の安定と経済発展の促進には、個々の国へのアプローチに加え、アセアンの枠組みを活用し、広域的な協力を推進していくことが不可欠である。 我が国は、アジア地域の食料安全保障の確保、農分野の発展に向け、アセアン諸国の農業普及員等の能力強化のための研修や専門家派遣、ASEAN+3緊急米備蓄（APTERR）、アセアン食料安全保障情報システム（AFSIS）及び日・アセアン連携による新産業人材育成支援事業を実施している。 我が国は、ASEAN事務局が、これら事業のパートナーとして、高い組織力、機能、支援能力・努力を発揮し、域内のニーズや課題の発掘などを通じ、効果的な成果を上げていることを高く評価している。特に、研修を通じた人材育成において、研修で得た知識や経験を農家に普及した結果、所得を向上させた農家も出る等、普及効果が現れてきている。また、APTERR事業において、現物備蓄プログラムによる緊急支援により、アセアン地域における食料安全保障への貢献が図られている。					
【備考】					